

## 1.5 注目すべき種の分布状況

近年、ペットショップなどで購入した国外外来種が、逃げ出す、野外へ遺棄されるなどして、本来は日本に生息しない種が侵入し、在来種との競合など生態系に深刻な影響を与えるケースがみられます。

ここでは、主にペットとして飼育されている国外外来種の確認状況について整理しました。

### 【飼育（ペット）由来の国外外来種】

(魚類調査)

#### ・コイ（飼育品種）、タイリクバラタナゴ、キンギョを確認

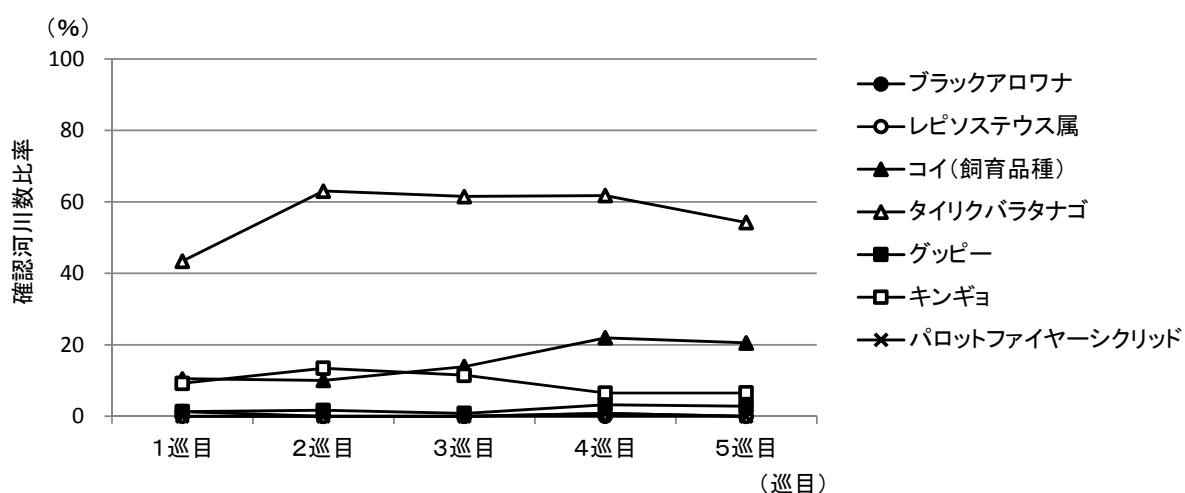
国外外来種の中でペット由来と考えられる種のうち、特定外来生物に指定されていない種の確認状況を整理しました。また、参考として古くからペットとして親しまれてきたキンギョについても確認状況を整理しました。

コイ（飼育品種）は、今回とりまとめを行った 39 河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、3 河川で確認されました。タイリクバラタナゴは、25 河川で確認されました。タイリクバラタナゴは、2 巡目以降緩やかに減少しており、縮小・衰退傾向がみられました。キンギョは、1 河川で確認されました。

(資料掲載：1-65～1-76 ページ、1-79～1-80 ページ)

### 1～5巡目調査の確認河川数の比較

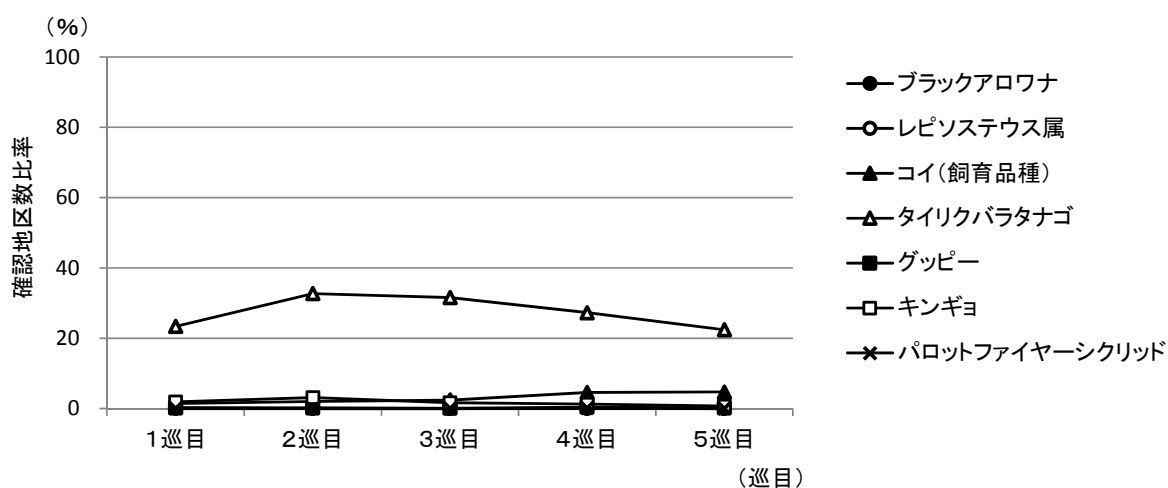
種類	1巡目調査 (76河川)	2巡目調査 (119河川)	3巡目調査 (122河川)	4巡目調査 (123河川)	5巡目調査 (107河川)
ブラックアロワナ	1河川 〔 1.3〕	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕
レピソステウス属	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕	1河川 〔 0.8〕	0河川 〔 0.0〕
コイ (飼育品種)	8河川 〔10.5〕	12河川 〔10.1〕	17河川 〔13.9〕	27河川 〔22.0〕	22河川 〔20.6〕
タイリクバラタナゴ	33河川 〔43.4〕	75河川 〔63.0〕	75河川 〔61.5〕	76河川 〔61.8〕	58河川 〔54.2〕
グッピー	1河川 〔 1.3〕	2河川 〔 1.7〕	1河川 〔 0.8〕	4河川 〔 3.3〕	3河川 〔 2.8〕
キンギョ	7河川 〔 9.2〕	16河川 〔13.4〕	14河川 〔11.5〕	8河川 〔 6.5〕	7河川 〔 6.5〕
パロットファイヤー シクリッド	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕	0河川 〔 0.0〕	1河川 〔 0.8〕	0河川 〔 0.0〕



- ※ 確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～4巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。
- ※ ( ) 内は調査実施河川数を示す。
- ※ [ ] 内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合 (%) を示す。
- ※ 5巡目調査のデータは H23～H26 調査の合計。

### 1～5巡目調査の確認地区数の比較

種類	1巡目調査 (565地区)	2巡目調査 (938地区)	3巡目調査 (993地区)	4巡目調査 (918地区)	5巡目調査 (878地区)
ブラックアロワナ	1地区 〔0.2〕	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕
レピソステウス属	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	1地区 〔0.1〕	0地区 〔0.0〕
コイ（飼育品種）	8地区 〔1.4〕	19地区 〔2.0〕	24地区 〔2.4〕	42地区 〔4.6〕	41地区 〔4.7〕
タイリクバラタナゴ	132地区 〔23.4〕	307地区 〔32.7〕	315地区 〔31.6〕	251地区 〔27.3〕	197地区 〔22.4〕
グッピー	1地区 〔0.2〕	2地区 〔0.2〕	1地区 〔0.1〕	4地区 〔0.4〕	2地区 〔0.2〕
キンギョ	11地区 〔1.9〕	29地区 〔3.1〕	17地区 〔1.7〕	12地区 〔1.3〕	6地区 〔0.7〕
パロットファイヤー シクリッド	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	0地区 〔0.0〕	1地区 〔0.1〕	0地区 〔0.0〕



- ※ 確認地区数の比較は調査実施全地区のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※ 1～4巡目調査のデータは、調査実施全地区のうち、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。
- ※ ( ) 内は調査実施地区数を示す。
- ※ [ ] 内は確認地区数の調査実施地区数に対する割合 (%) を示す。
- ※ 5巡目調査のデータは H23～H26 調査の合計。

ブラックアロワナは南米原産<sup>注1)</sup>で、観賞魚として輸入されています。今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。1巡目調査で1河川、1地区で確認されました。

レピソステウス属は北米原産<sup>注1)</sup>で、観賞魚として輸入されています。今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。4巡目調査で1河川、1地区で確認されました。

コイ（飼育品種）は、カガミゴイ、カワゴイなどを含みます。今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、3河川で確認されました。また確認地区では4地区で確認されました。確認河川数の割合は2巡目調査10.1%、3巡目調査13.9%、4巡目調査22.0%、5巡目調査20.6%で4巡目以降は安定している傾向がみられました。なお、現在河川に生息するコイの多くは、飼育品種や外来のコイとの交雑であることが知られていますが、ここでのコイ（飼育品種）は、体色等で明確に飼育品種とわかる個体としました。

タイリクバラタナゴは中国、朝鮮などが原産<sup>注2)</sup>で、1942年前後に中国からの種苗に混入して定着したとされています。今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）のうち、25河川で確認されました。また確認河川数の割合は2巡目調査以降50～60%台で推移し、今回とりまとめを行った他の種と比較して広い範囲で生息が確認されました。

グッピーは、南米原産<sup>注2)</sup>で観賞魚として輸入されています。今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。確認河川数の割合は低位で安定しています。

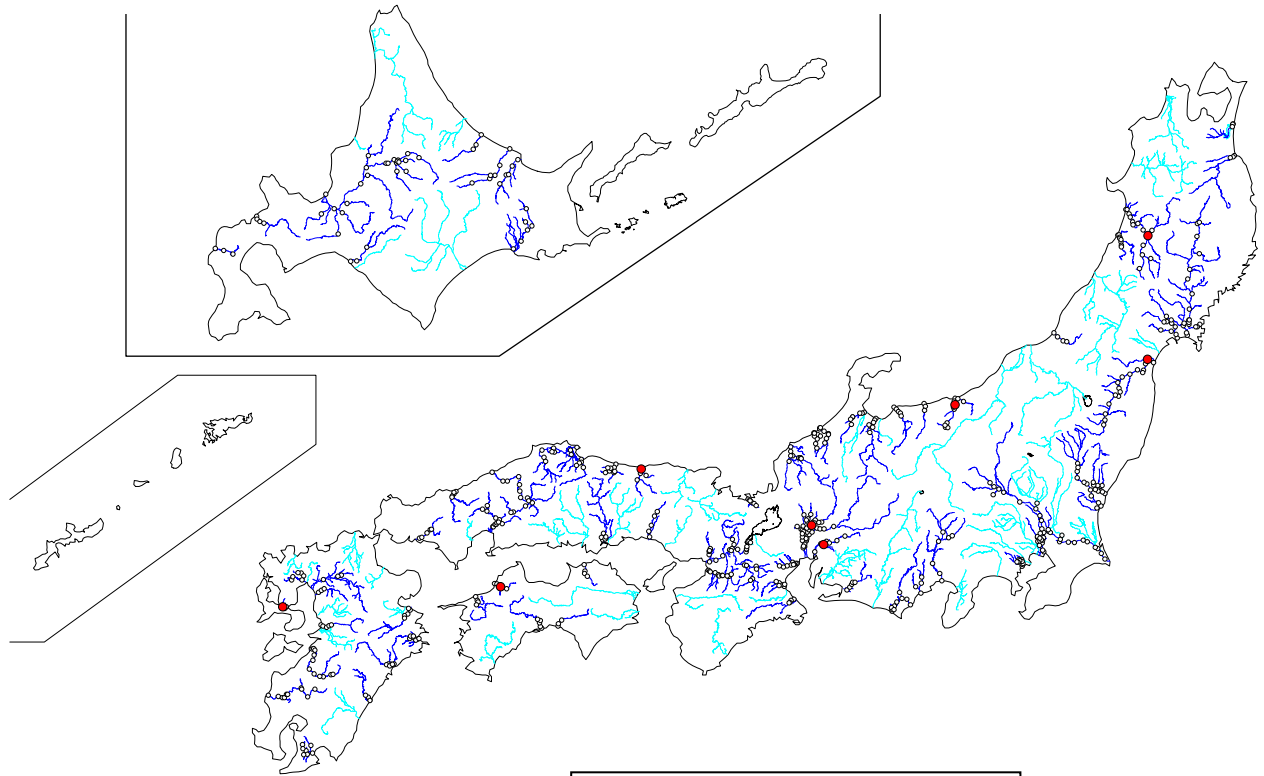
キンギョは、今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）では1河川の確認でした。なおキンギョについては、体色や体形で明確にキンギョとわかる個体を対象としました。

パロットファイヤーシクリッドは台湾原産の交雑品種で、観賞魚として輸入されています。今回とりまとめを行った39河川（一級河川の直轄管理区間）では確認されませんでした。

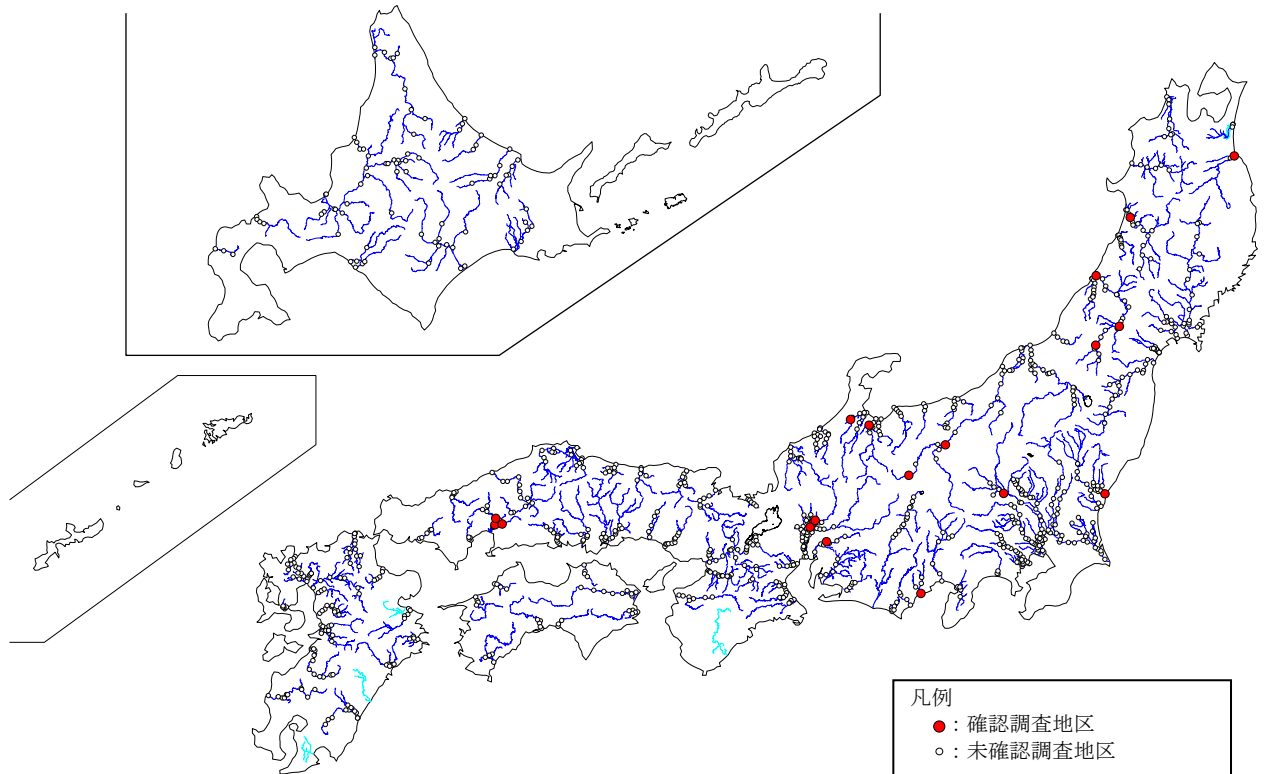
注1) 出典：熱帯魚淡水魚百科．平凡社．

注2) 出典：日本の外来魚ガイド．文一総合出版．

1 巡目調査（平成 2～7 年度）



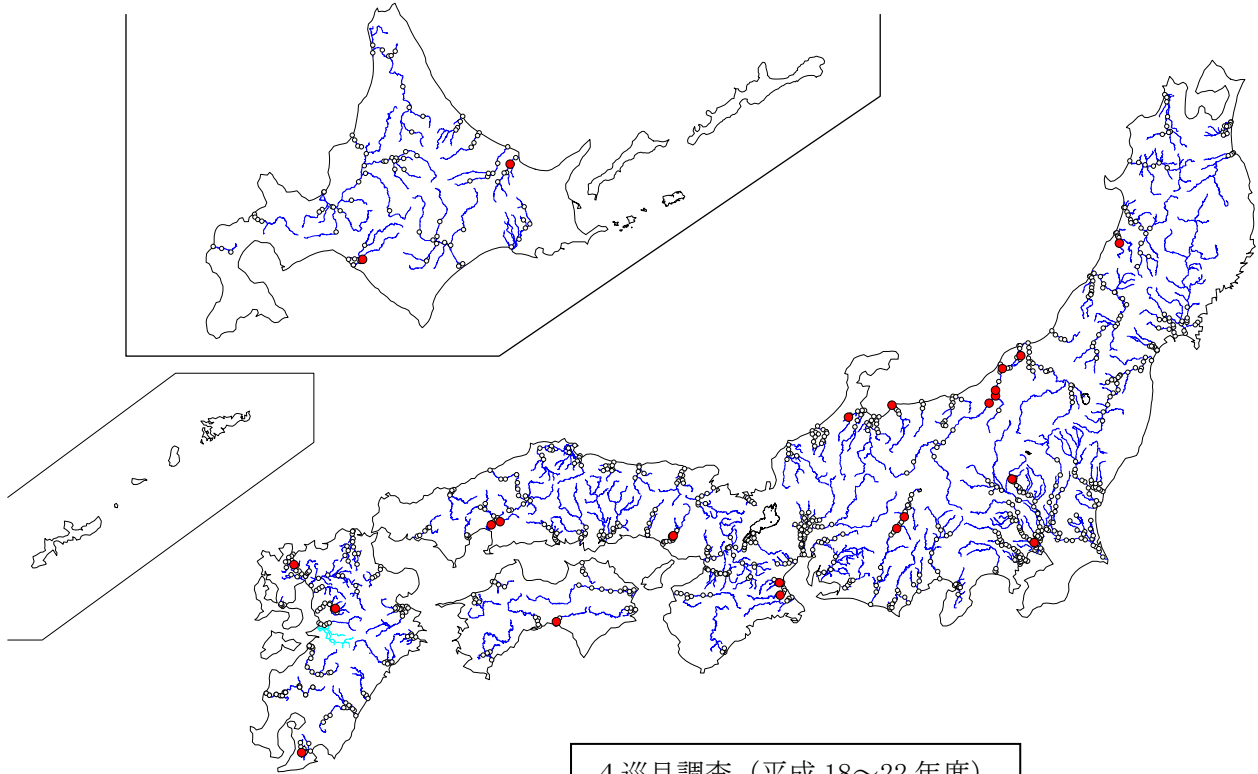
2 巡目調査（平成 8～12 年度）



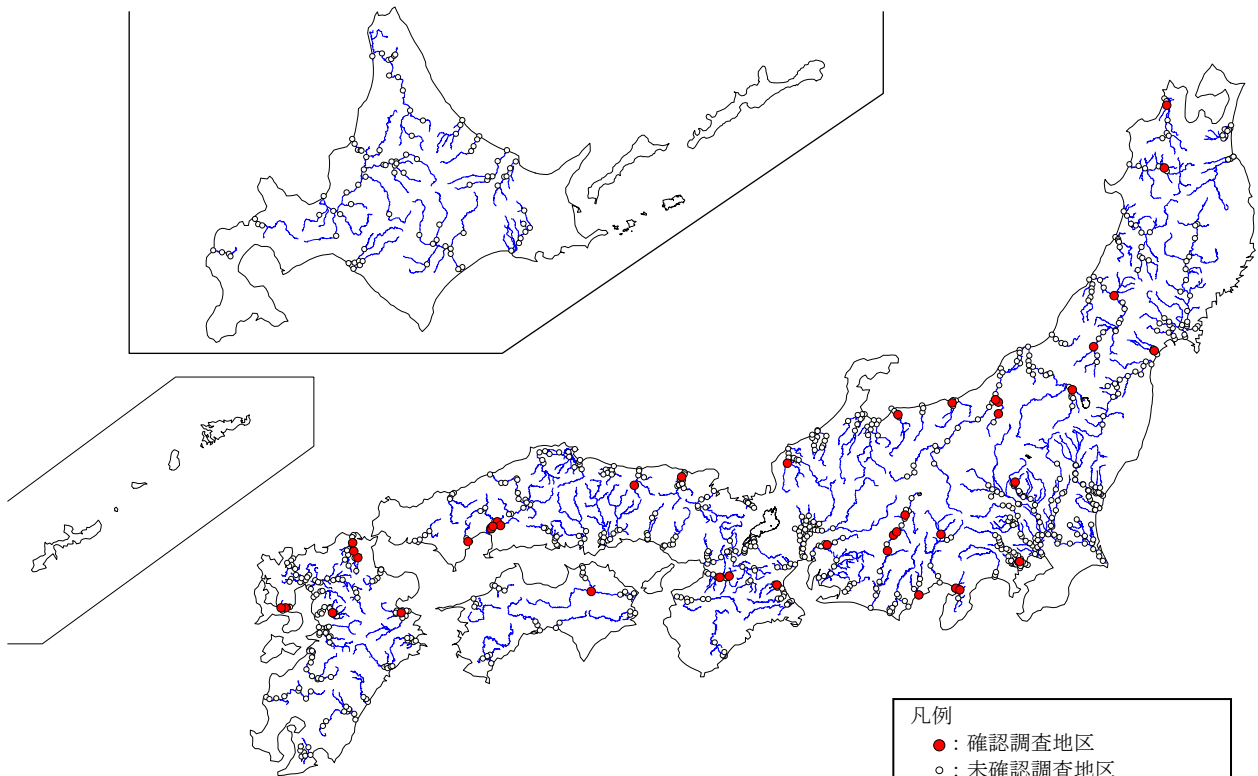
注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コイ（飼育品種）の確認された地域（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



4 巡目調査 (平成 18~22 年度)



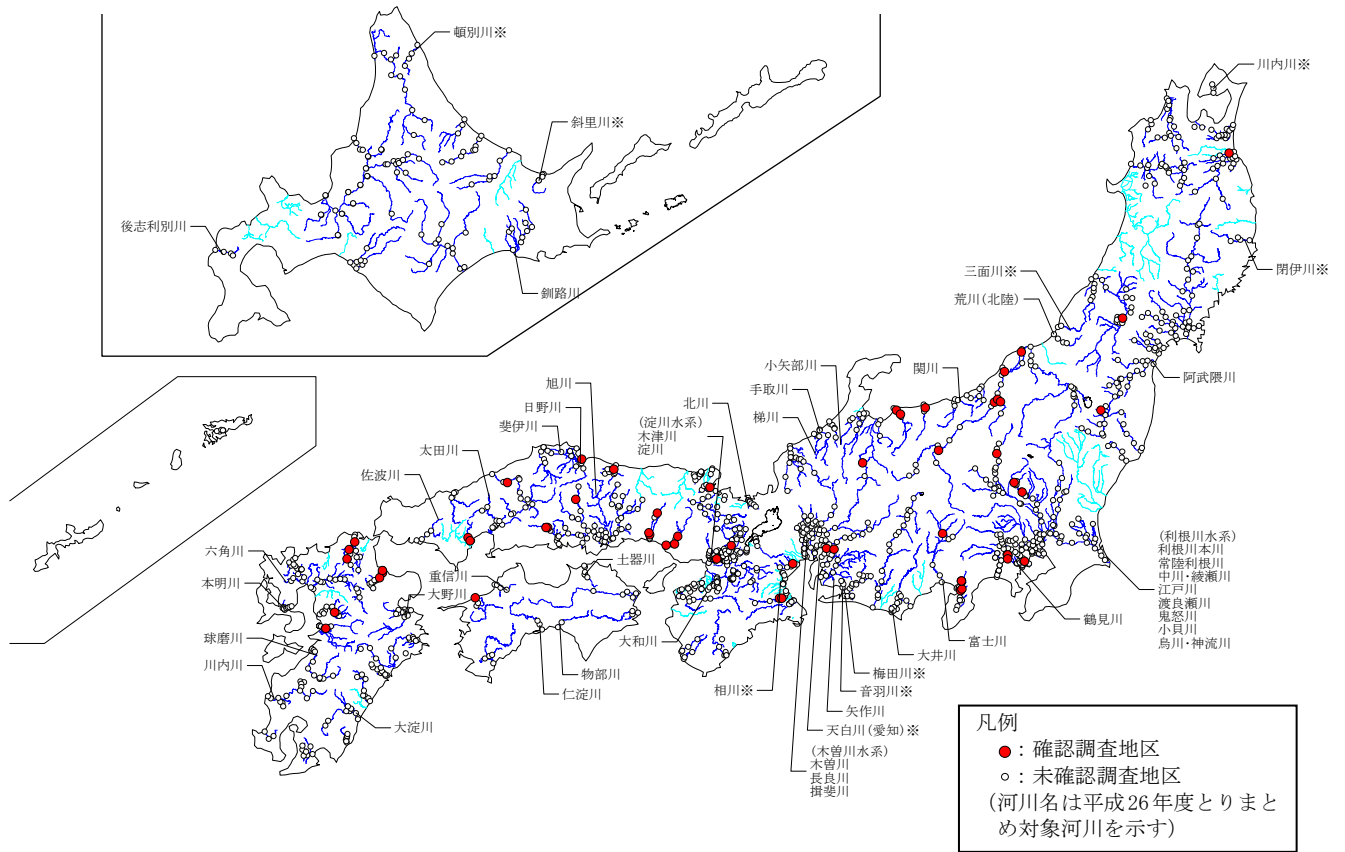
凡例

- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

コイ (飼育品種) の確認された地域 (3 巡目調査、4 巡目調査)

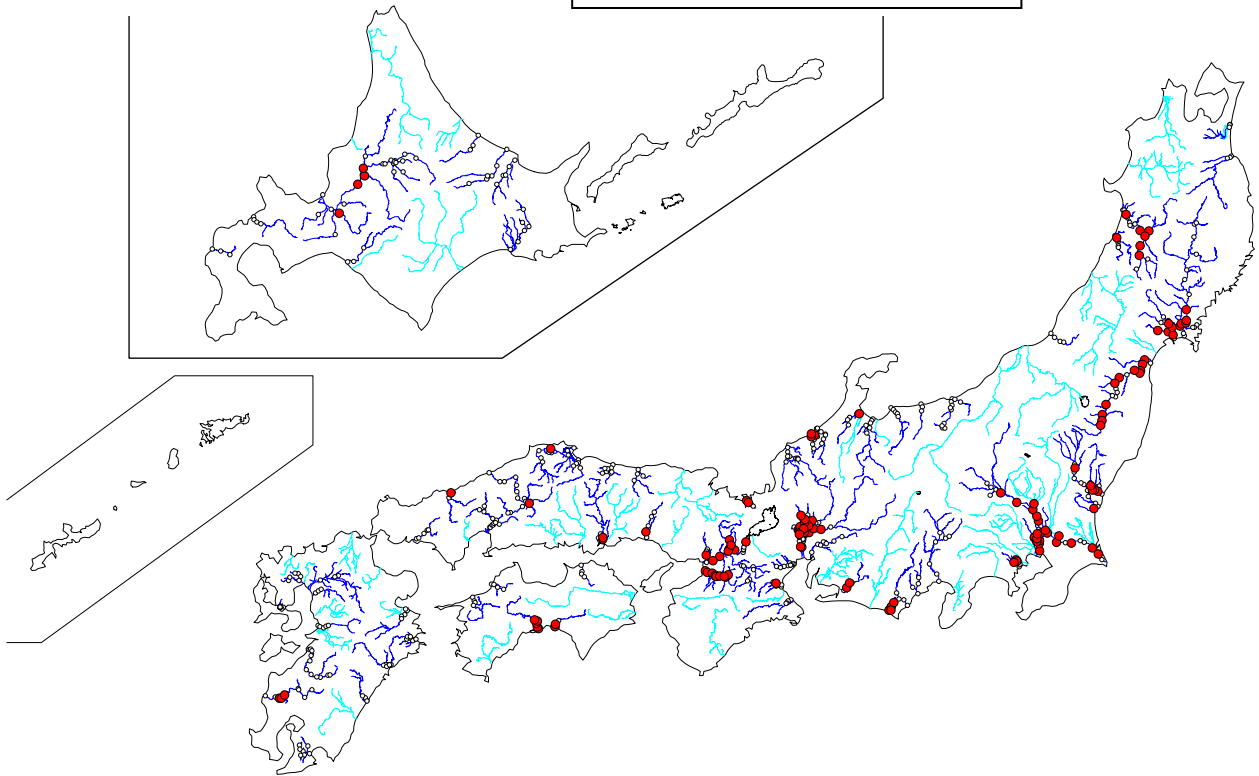
5 巡目調査 (平成 23~26 年度)



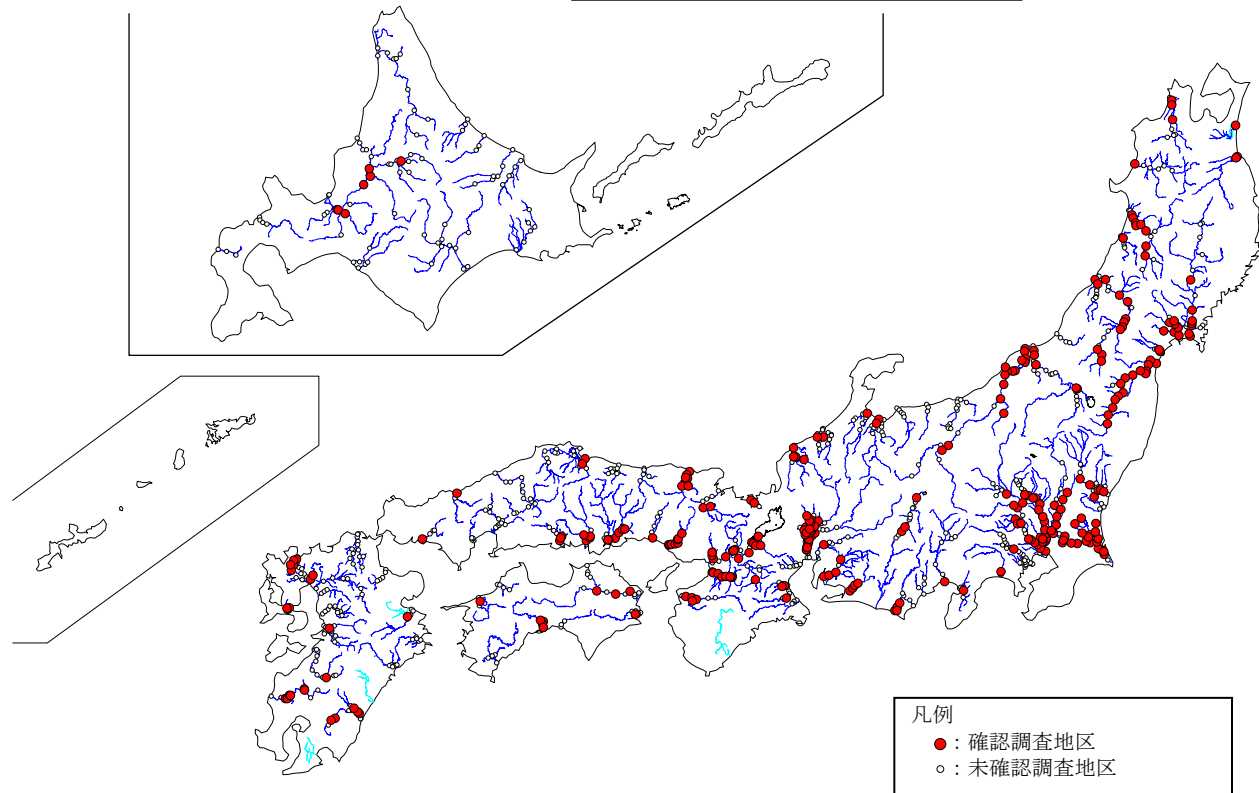
注 1) ーは、調査未実施の河川を示す。  
 注 2) 5 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含む。  
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

コイ (飼育品種) の確認された地域 (5 巡目調査)

1 巡目調査（平成 2～7 年度）



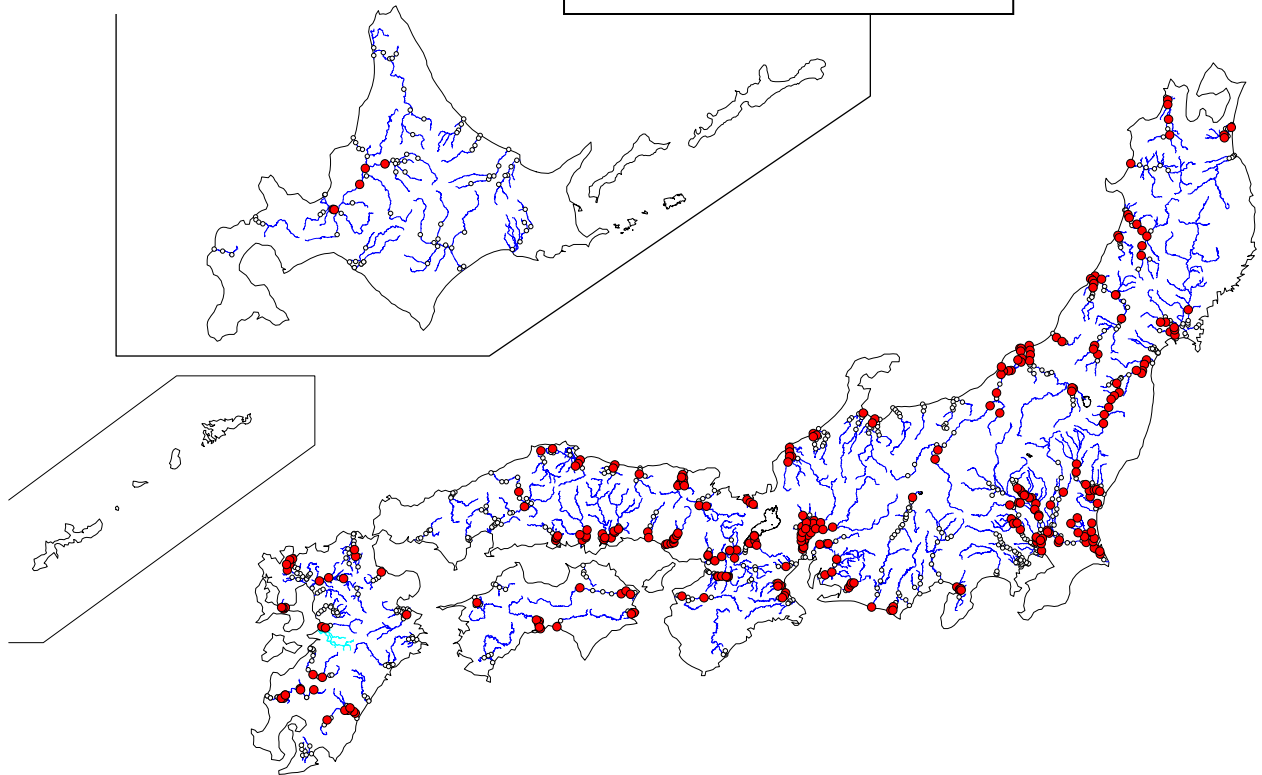
2 巡目調査（平成 8～12 年度）



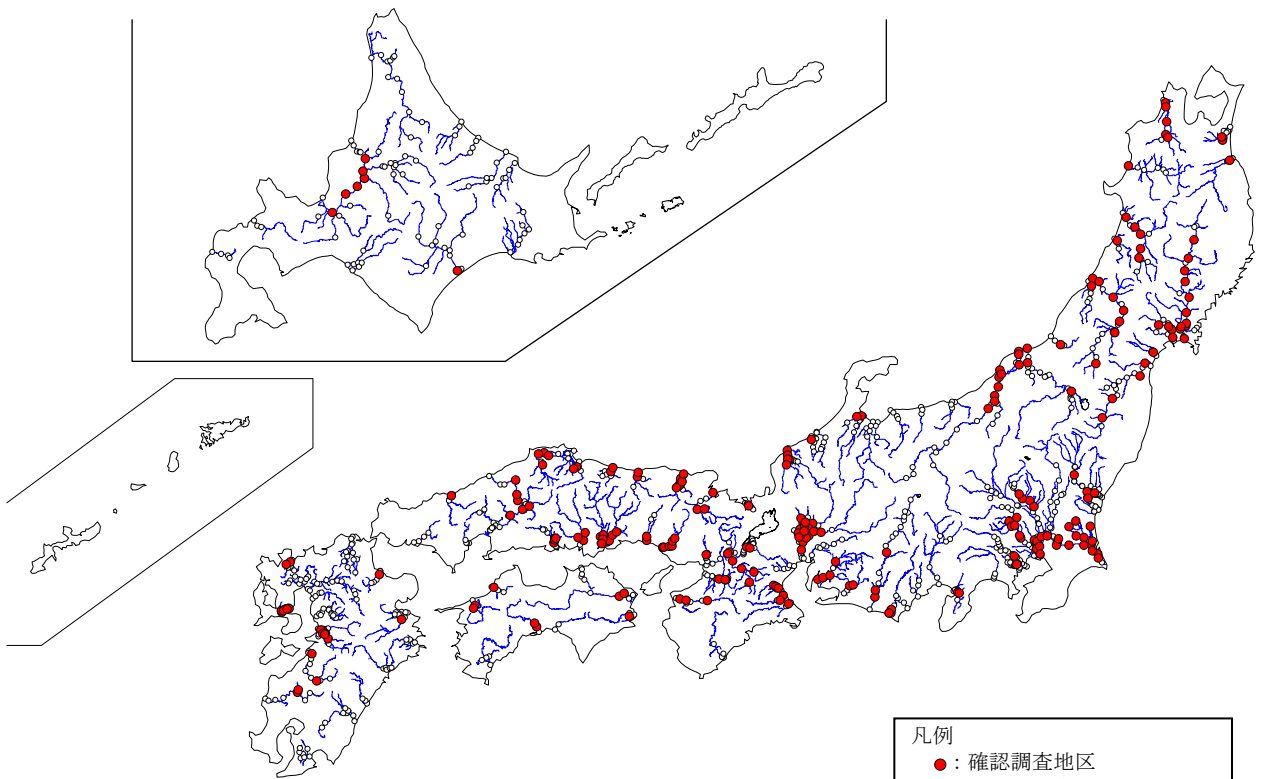
タイリクバラタナゴの確認された地域（1 巡目調査、2 巡目調査）



3 巡目調査 (平成 13~17 年度)



4 巡目調査 (平成 18~22 年度)



凡例

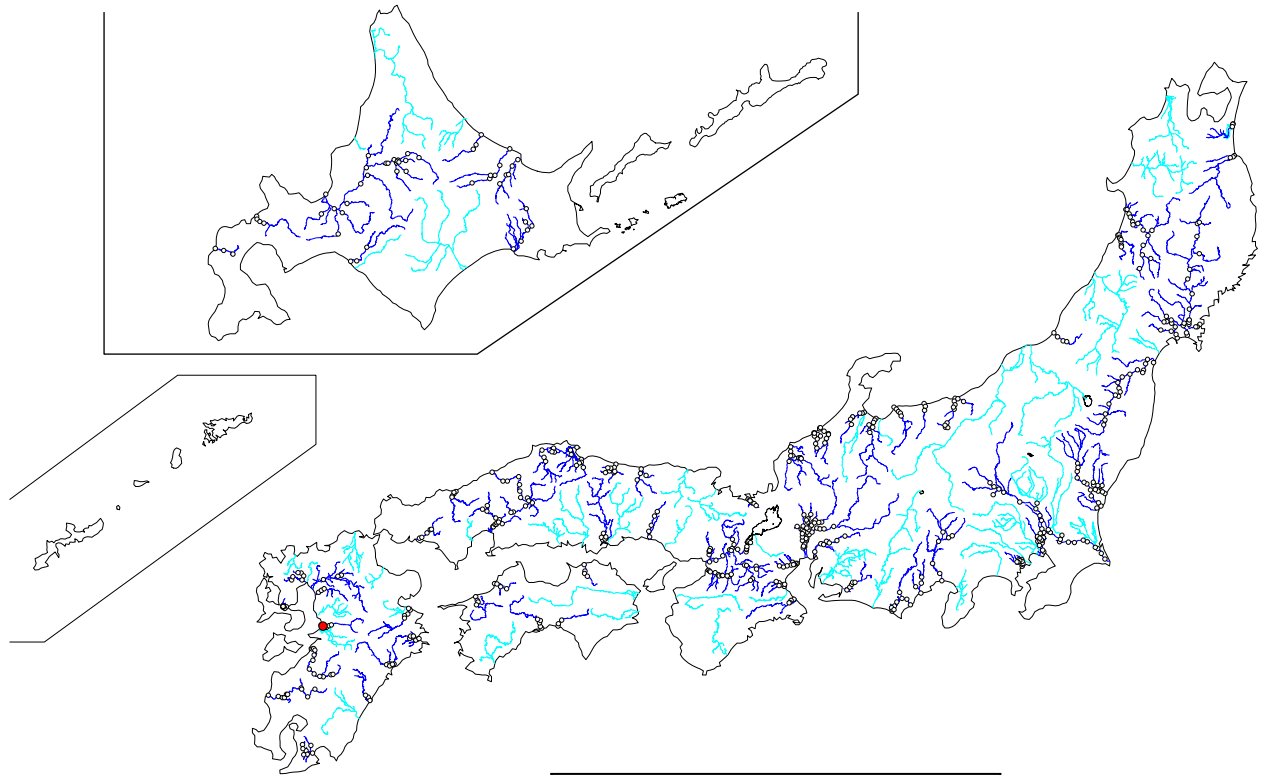
- : 確認調査地区
- : 未確認調査地区

注) 浅青は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

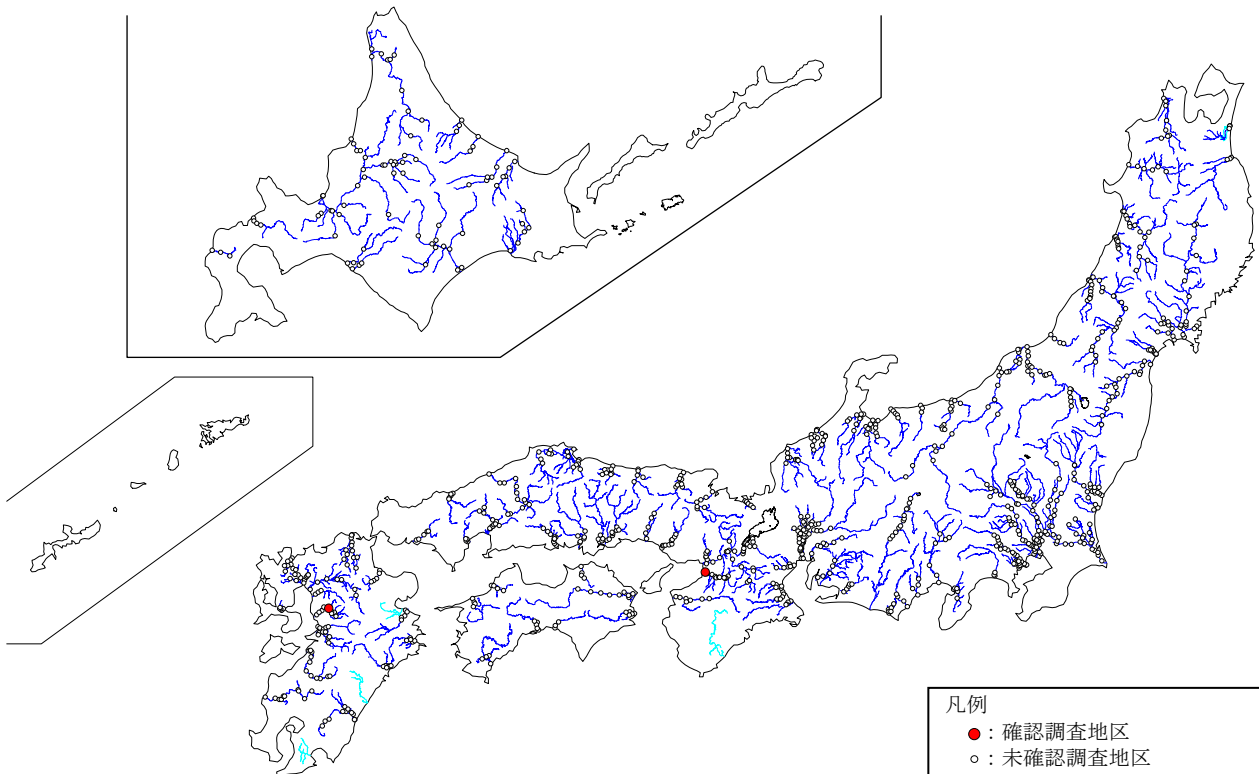
タイリクバラタナゴの確認された地域 (3 巡目調査、4 巡目調査)



1 巡目調査（平成 2～7 年度）



2 巡目調査（平成 8～12 年度）

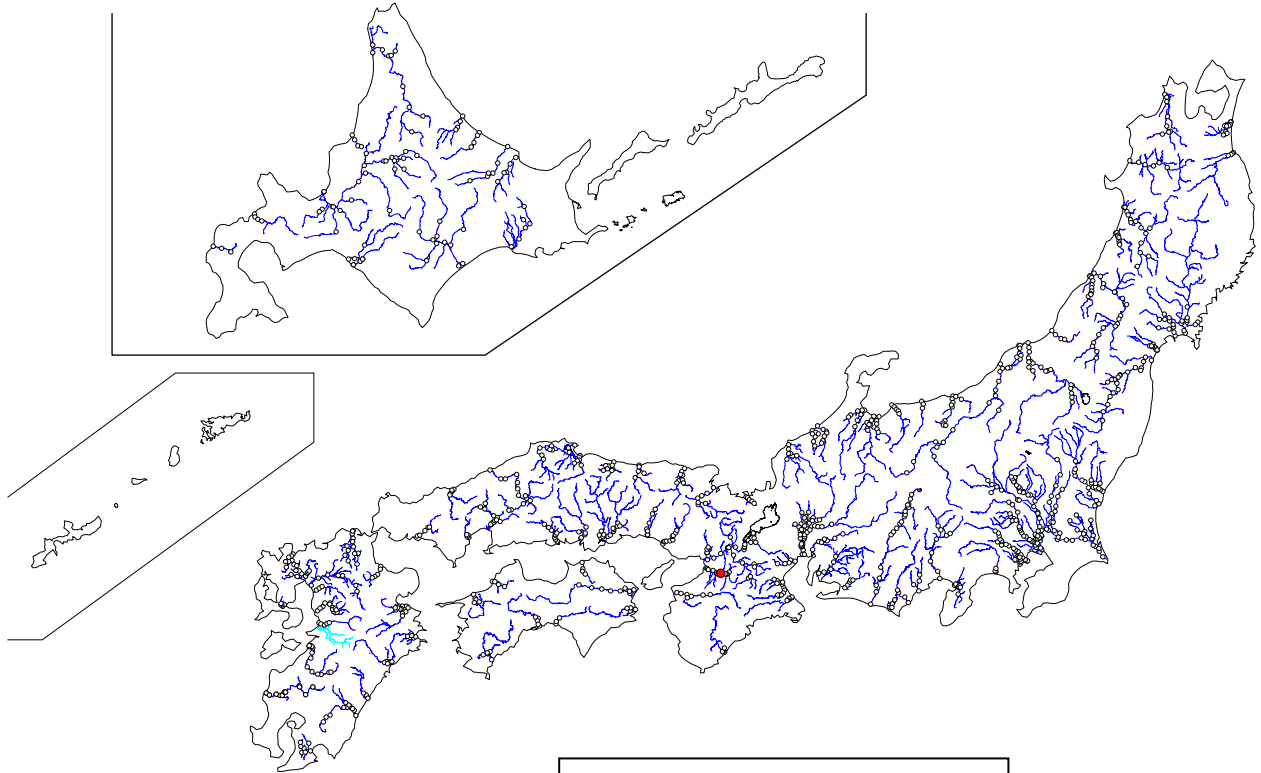


- 凡例
- : 確認調査地区
  - : 未確認調査地区

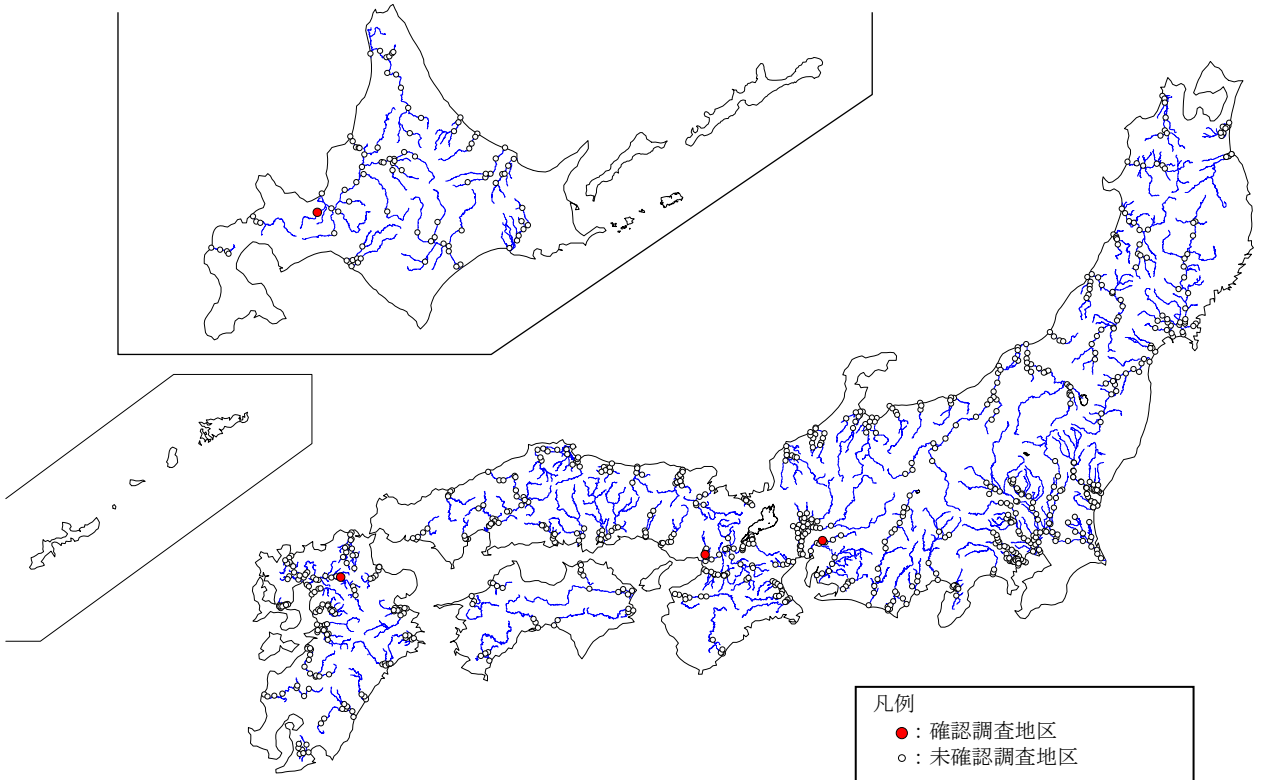
注) — は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

グッピーの確認された地域（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



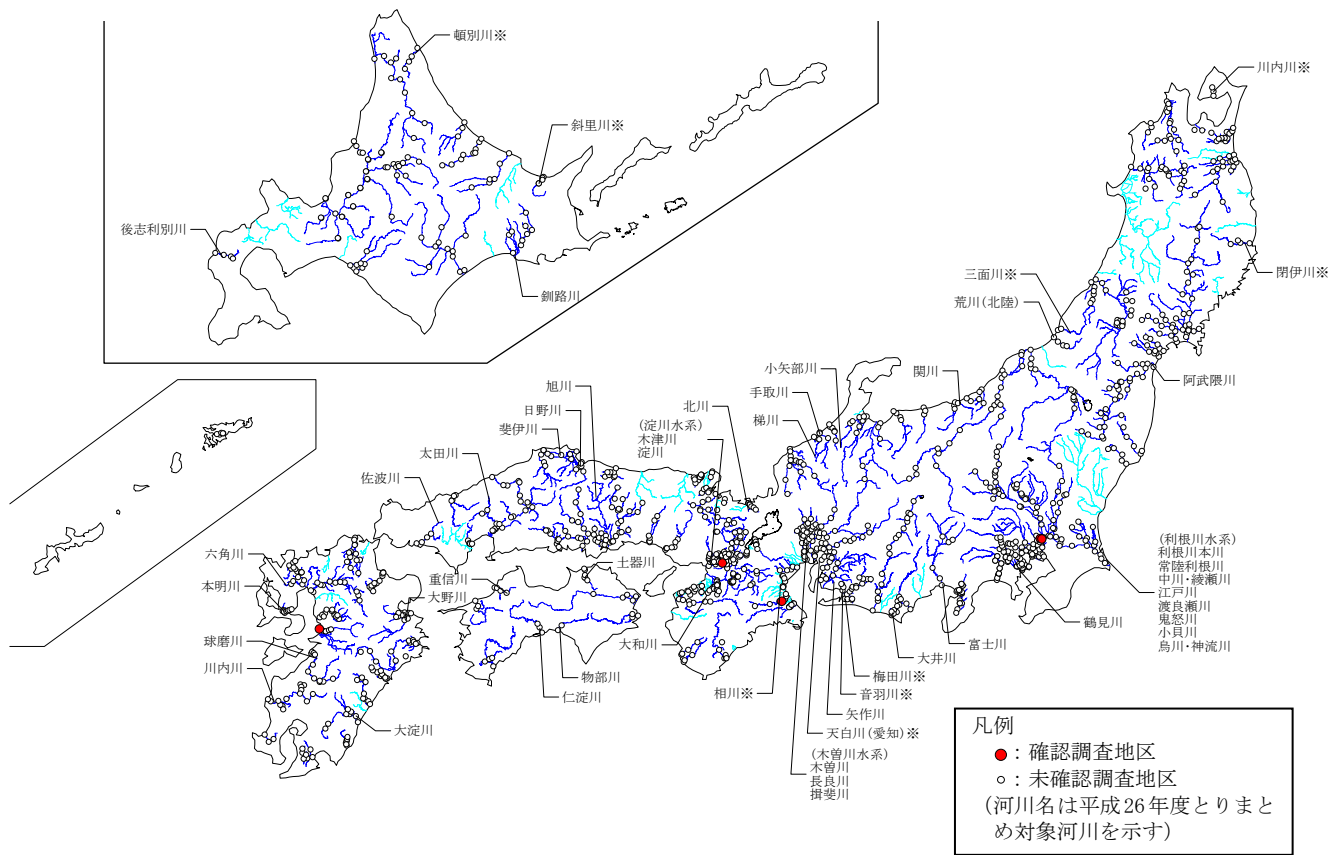
4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

グッピーの確認された地域 (3 巡目調査、4 巡目調査)

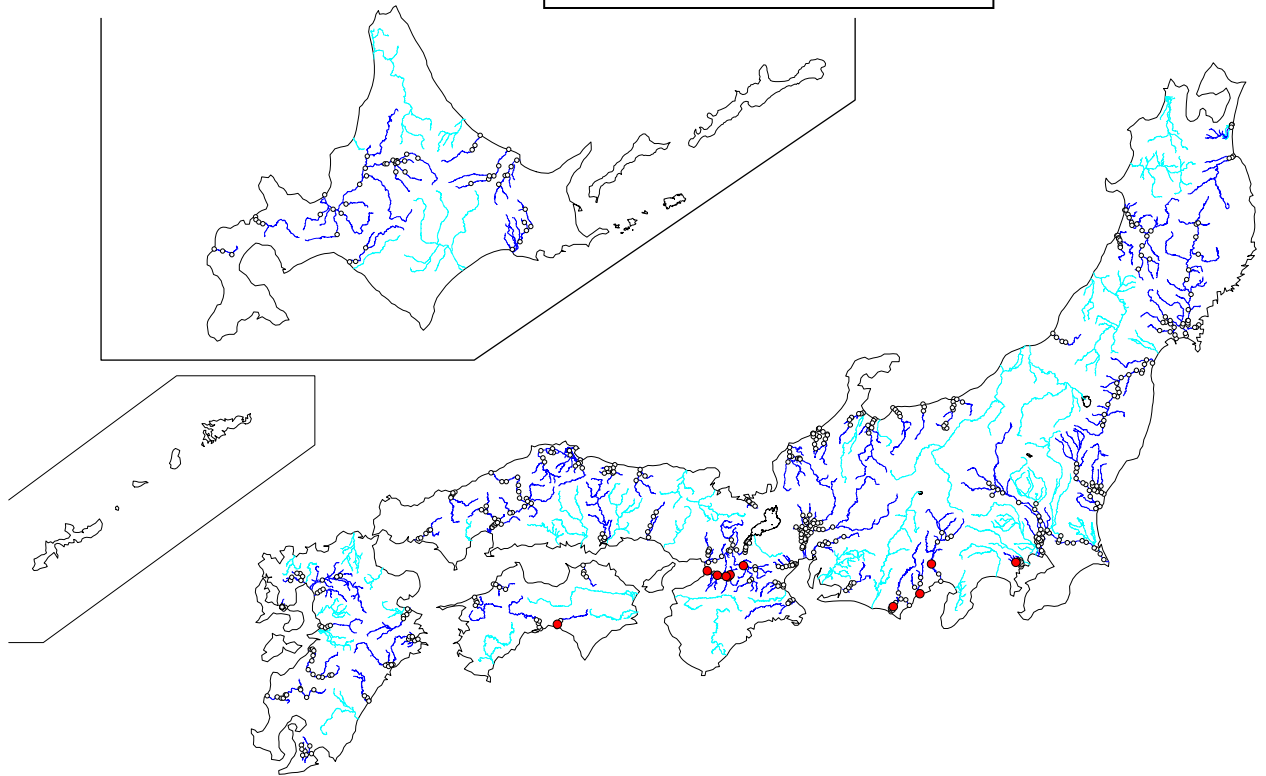
5 巡目調査（平成 23～26 年度）



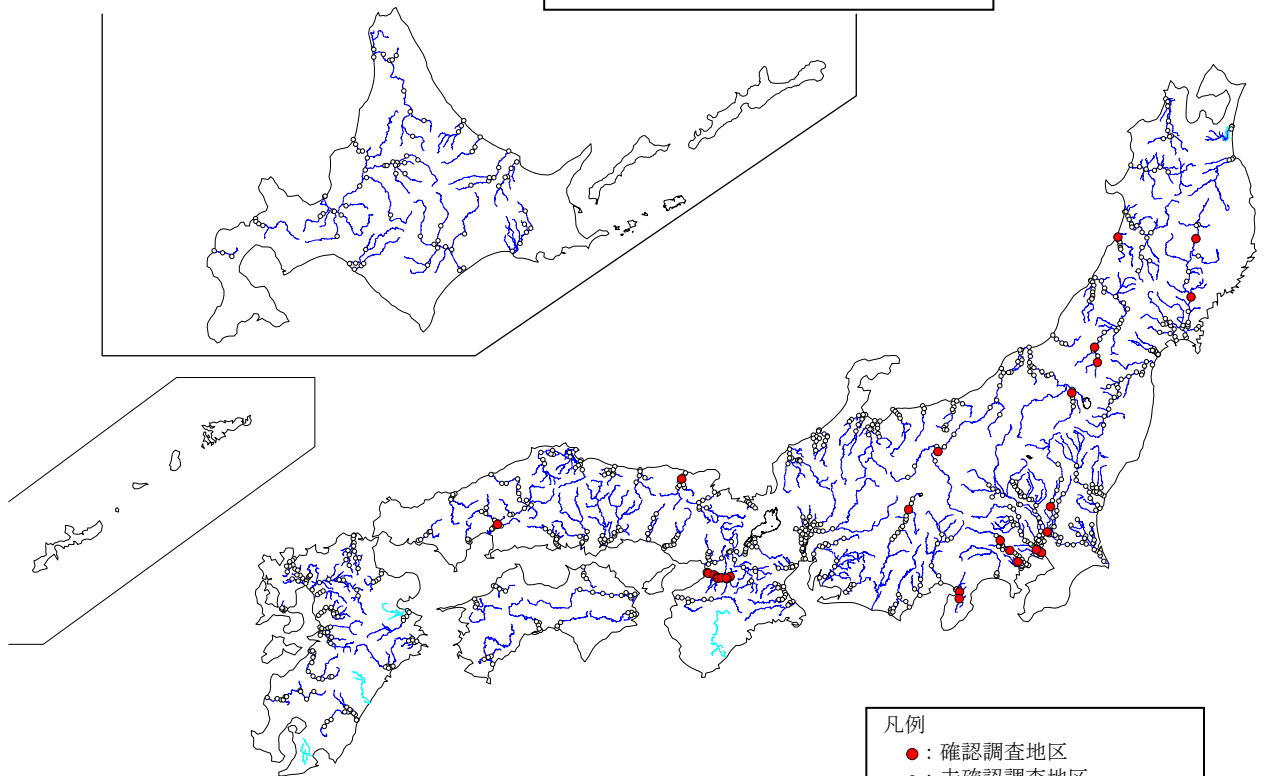
注1) 〓は、調査未実施の河川を示す。  
 注2) 5 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含む。  
 注3) ※は、二級水系（河川）を示す。

グッピーの確認された地域（5 巡目調査）

1 巡目調査（平成 2～7 年度）

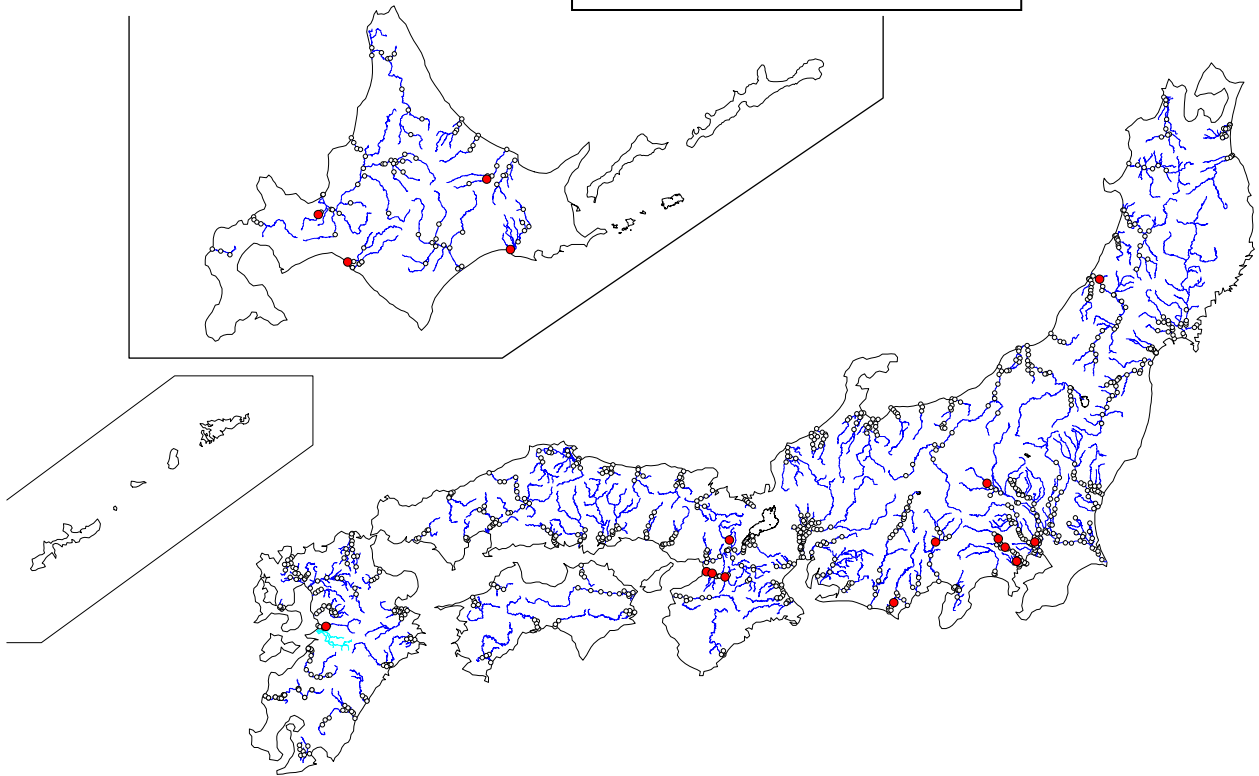


2 巡目調査（平成 8～12 年度）

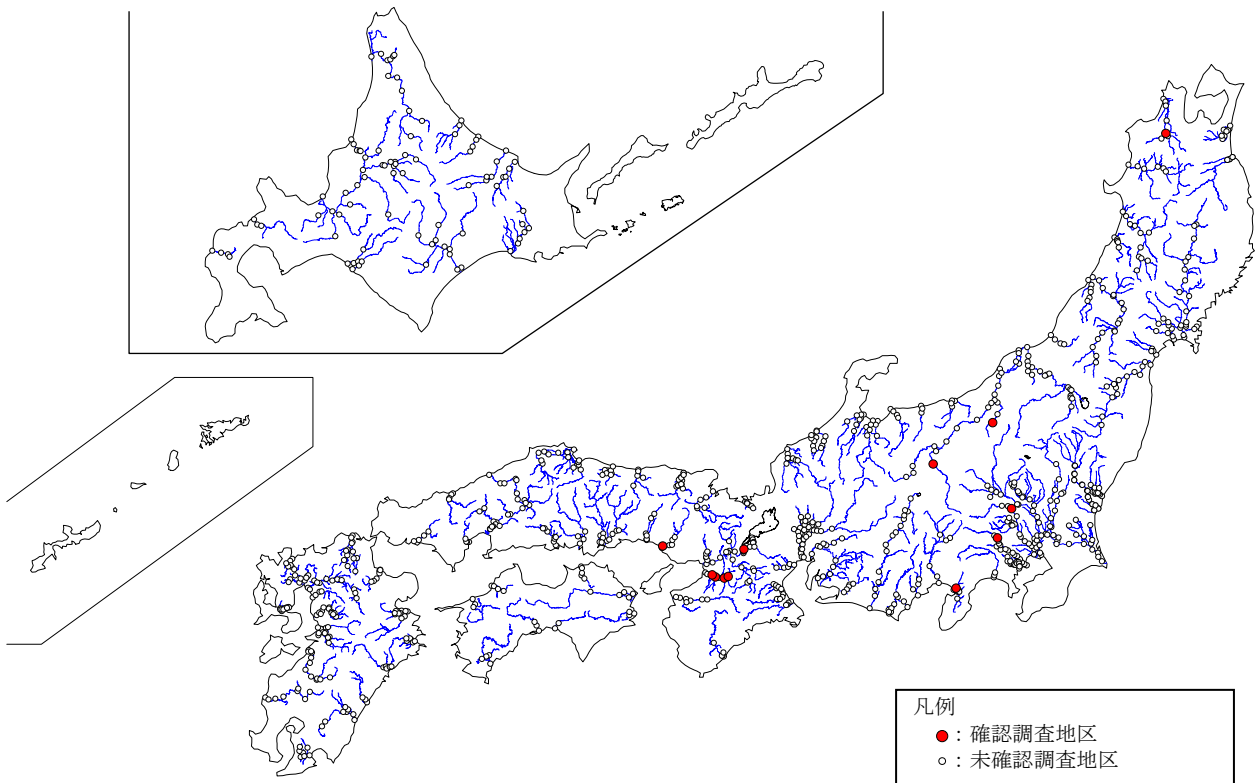


キングヨの確認された地域（1 巡目調査、2 巡目調査）

3 巡目調査 (平成 13～17 年度)



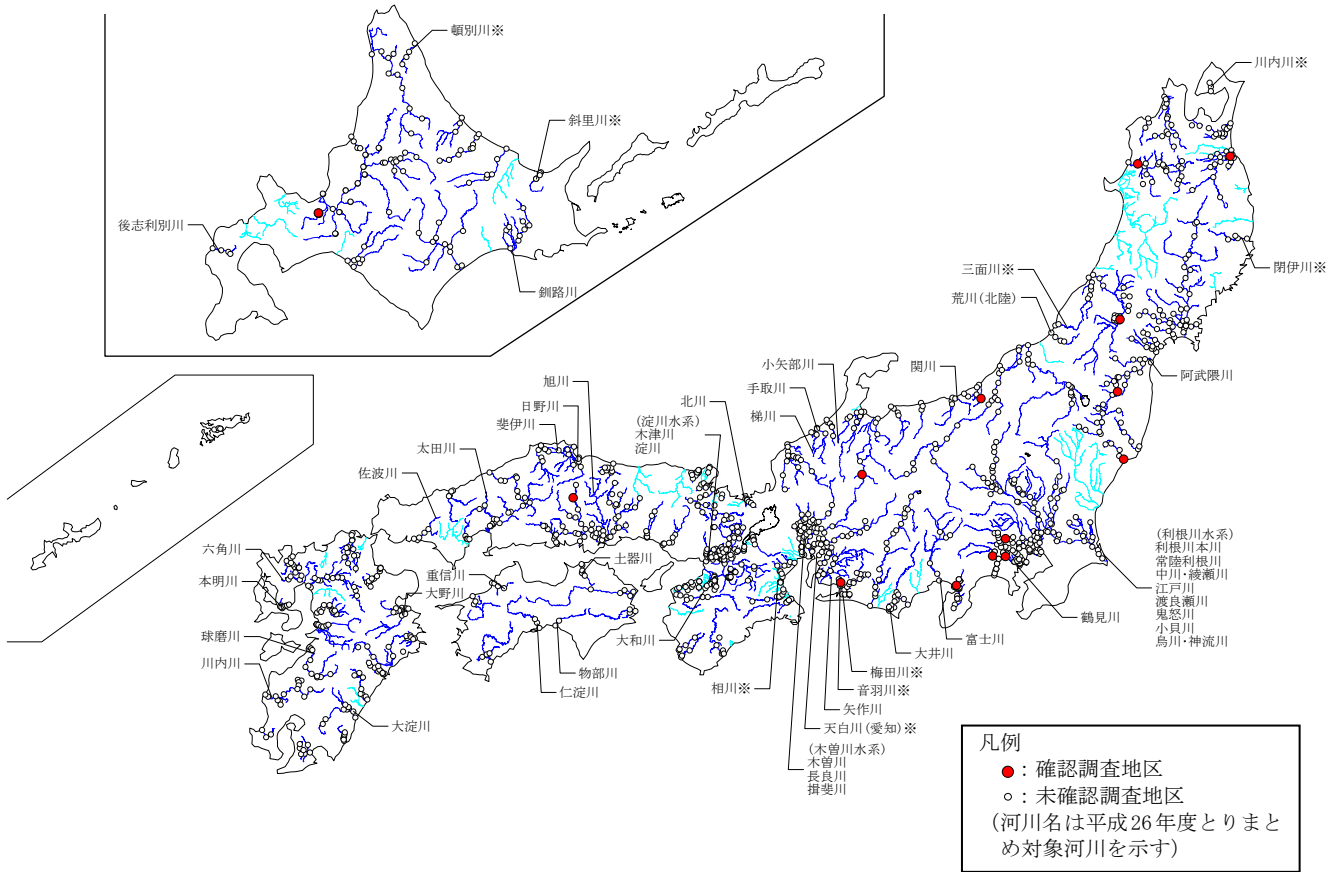
4 巡目調査 (平成 18～22 年度)



注) 〓は、調査未実施もしくは調査結果が河川環境データベースに未格納の河川を示す。

キングヨの確認された地域 (3 巡目調査、4 巡目調査)

5 巡目調査 (平成 23~26 年度)



注 1) 〓は、調査未実施の河川を示す。  
 注 2) 5 巡目調査には、一級水系指定区間および二級水系での調査を含む。  
 注 3) ※は、二級水系 (河川) を示す。

キングョの確認された地域 (5 巡目調査)